

# EASYLABEL 基本マニュアル



2014年 1月  
第 1.1 版

## 目次

### 【1】 システム環境設定

EASYLABEL 全体のシステム環境設定です。一度、設定すれば以降は変える必要はありません。

### 【2】 フォーマットの追加/変更/削除

設計したラベルのフォーマットファイルの追加、変更、削除の方法を説明しています。EASYLABEL ではラベルの設計全体のことをフォーマットと呼びます。

### 【3】 フィールド設計・データソース

フォーマット中の各フィールドの設定方法を説明しています。EASYLABEL では、フォーマット中に表現された各項目のことをフィールドと呼びます。

### 【4】 ラベル・タグの印字

設計したラベルフォーマットを印字する方法を説明しています。

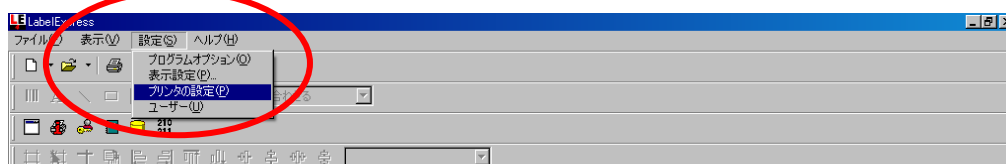
### 【5】 データベース機能

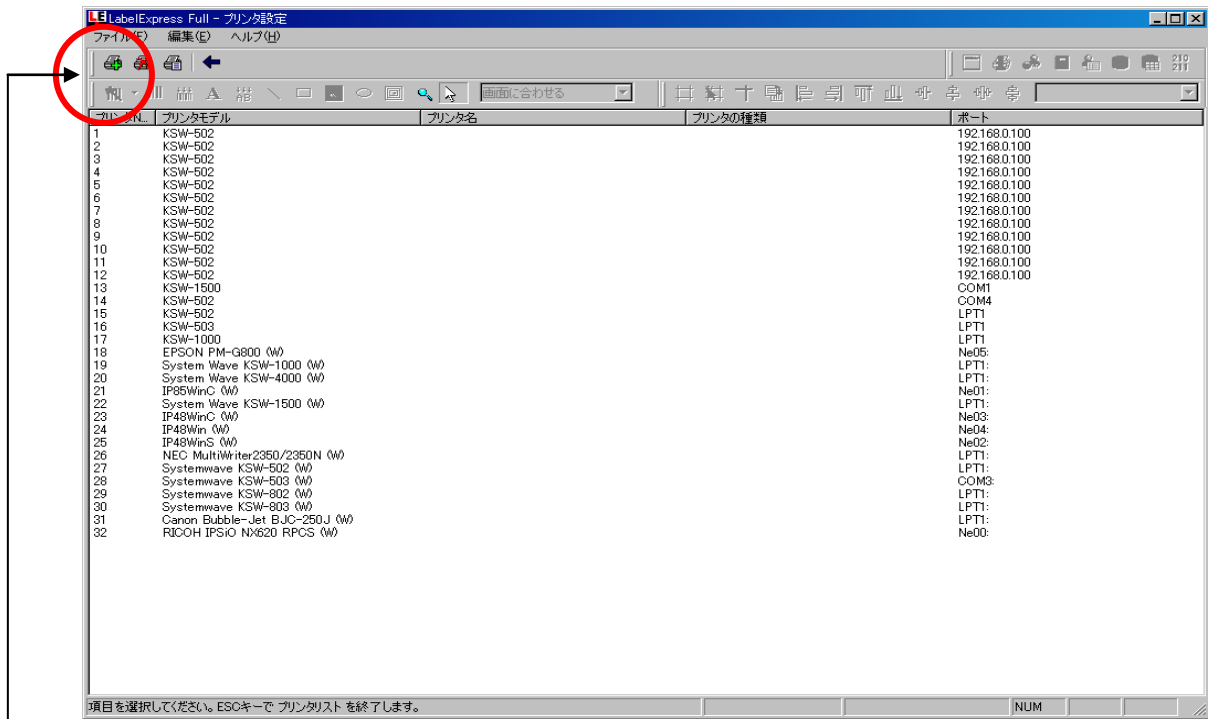
データベース機能に関することを説明しています。

**※ 以下、画面表記はお使いのバージョンにより異なります。**

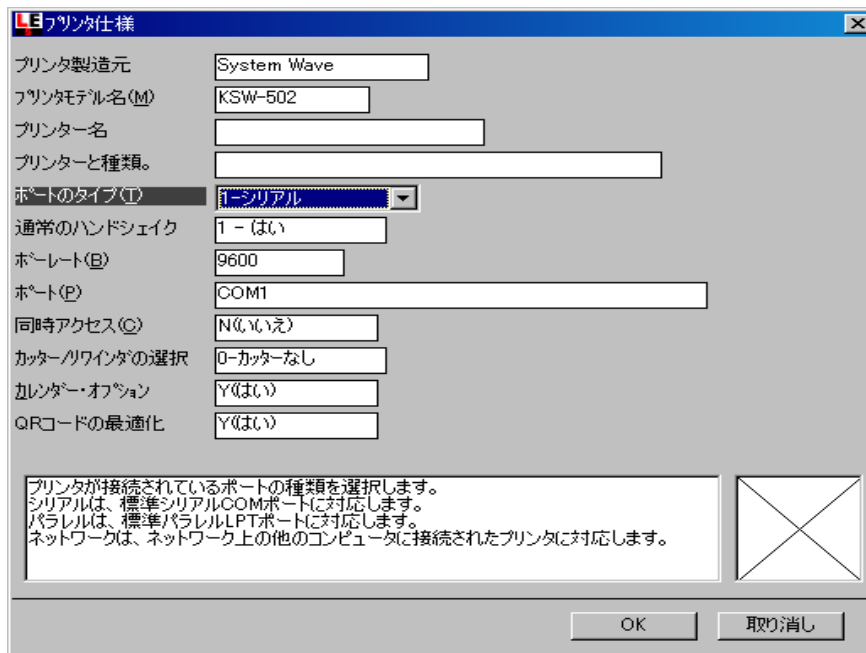
### 【1】 システム環境設定

- ・ プリンタの追加
  - ① EASYLABEL を起動します。
  - ② 「設定」メニューをクリックし、「プリンタの設定」を選択します。





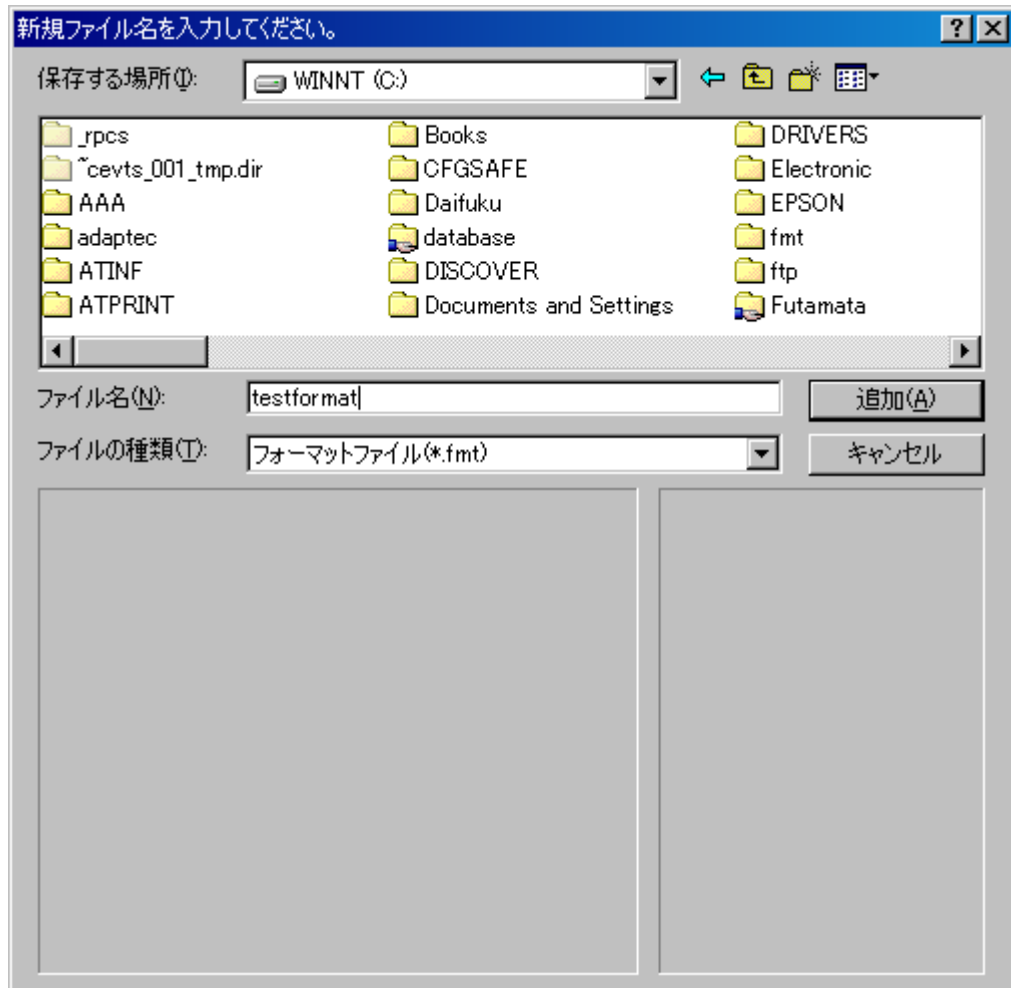
左上にある、緑色の「+」の形のアイコンをクリックします。



- ③ 使用するプリンタを選択し、各種の設定を行います。設定項目は、主にメーカー名、プリンタモデル名、ポートのタイプ及びオプション項目等を設定します。プリンタによって設定項目は異なります。詳しくはメーカーにお問い合わせください。なお、プリンタドライバをお使いの場合はレーベルエクスプレスから設定を行う必要はありません。コントロールパネルにあります、プリンタの一覧からインストールを行ってください

## 【2】フォーマットの追加/変更/削除

- ・ フォーマットの新規作成
  - ① 「新規作成」 ボタンをクリックします。



- ② 保存場所を聞くダイアログが出ますので、任意の場所に任意の名前でファイルを指定し、「追加」ボタンをクリックします。

- ③ フォーマットの設定画面が出ますので、各種設定します。

プリンタモデル名(M)	1 - KSW-502
現在定義中のフィールド(F)	N(無し)
備考(Q)	
画面表示の方向の指定(Q)	1-送り方向を下向きに表示
印字領域の長さ(H)	130.0
印字領域の幅(W)	101.0
メディアの種類	1-通常のラベル
キャップのサイズ	3.0
左の余白(L)	0
横方向の枚数入力(A)	1
印字速度(S)	1-51mm/秒。
印字濃度(D)	3
印字モード(M)	B-バッチモード
ラベル送り停止位置(P)	0
感熱方式(D)	N(、いえ)
フォーマット回転(E)	N(、いえ)
置換ファイルの作成(C)	N(、いえ)
メモ리카ードのダウンロード(M)	N(、いえ)
自動フィールド名(A)	1 - はい
バックアップフォーマットを保存	N(、いえ)
印字イメージを保存	N(、いえ)

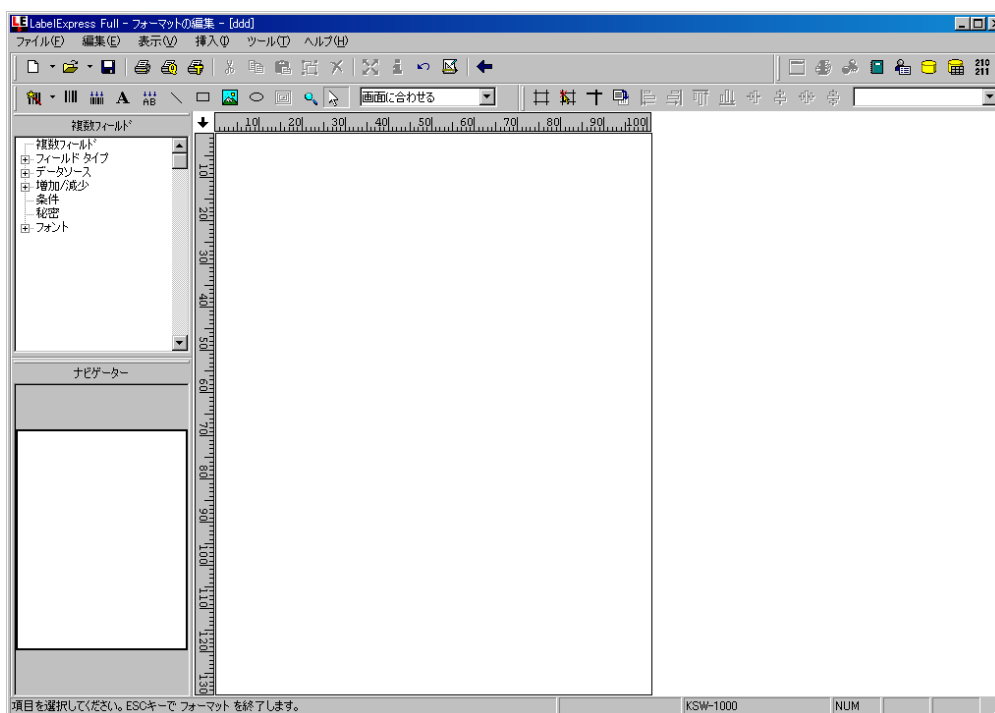
使用するプリンタを選択して下さい。

OK 取り消し

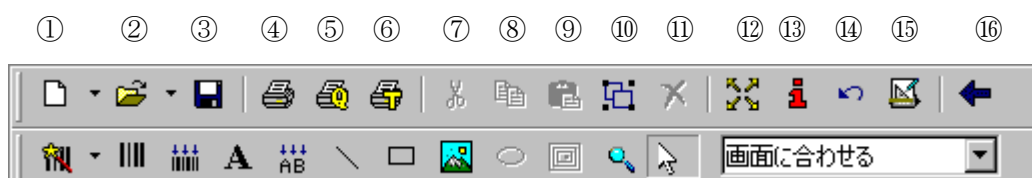
1. プリンタモデル名を選択します。これは、先ほど登録しましたプリンタ及びプリンタドライバの一覧の中から選べます。
  2. 印字領域の長さ及び幅、メディアの種類を選択します。プリンタによって、細部が異なります。また、プリンタドライバを選択した場合は、用紙情報も設定します。用紙情報は、コントロールパネルのプリンタの印刷設定で追加/変更できます。
  3. その他、必要な項目を設定します。選択したプリンタの種類やオプション(カッター機等)によって必要な項目は異なります。
- ④ 一番下の「OK」ボタンを押すと、ラベル編集画面に移ります。設定内容にエラーがある場合、エラー箇所と設定内容についての警告が表示されます。

### 【3】ラベル・タグの印字

- ・ 編集画面



- ・ フォーマットの設定が終わると、上のような編集画面になります。ルーラー(目盛り)に囲まれた部分が編集領域です。  
画面の上の方にあるアイコンをクリックする事で、文字やバーコードをフィールドに挿入できます。



- |                    |                       |                       |                          |                   |
|--------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------------|-------------------|
| (1)                | (2)                   | (3)                   | (4)                      | (5)               |
| ① 新規作成             | ② 既存のファイルを開く          | ③ 上書き保存               | ④ 印刷                     | ⑤ 印字キュー           |
| …フォーマットを新規作成します。   | …今までに作成したフォーマットを開きます。 | …現在編集中のファイルを上書き保存します。 | …フォーマットを印字します。           | …現在の印字要求一覧を表示します。 |
| ⑥ テスト印字            | ⑦ 切り取り                | ⑧ コピー                 | ⑨ 貼り付け                   |                   |
| …現在の編集内容でテスト発行します。 | …選択中のフィールドを切り取ります。    | …選択中のフィールドをコピーします。    | …切り取り/コピーしたフィールドを貼り付けます。 |                   |

- |   |               |                                  |
|---|---------------|----------------------------------|
| ⑩ | フィールドグループの指定  | …複数のフィールドを選択します。                 |
| ⑪ | 削除            | …フィールドを削除します。                    |
| ⑫ | フィールドの移動      | …フィールドを、ドラッグする事で移動できます。          |
| ⑬ | フィールドパラメータの表示 | …フィールドの設定内容を表示します。               |
| ⑭ | 元に戻す          | …直前に行った動作をキャンセルします。              |
| ⑮ | フォーマットの設定の変更  | …フォーマットの設定情報を表示します。              |
| ⑯ | 終了            | …編集を終了します。未保存の場合は確認メッセージが表示されます。 |

### (1)バーコード作成

#### ・ 必須指定項目：

バーコードの種類…印字したいバーコードの種類を選択します。

バーコードによって、その下の設定項目が変わります。詳細は、レーベルエクスプレスのヘルプにありますバーコード説明をご覧ください。

固定データ…一つ上の「データソース」が固定の際、ここに印字するデータを入力します。データベースを使う場合等は設定の必要はありません。DBや他のデータ入力方法を選択する場合は、個別に設定内容が変わります。(後述)

## (2)文字フィールド作成

テキストフィールド作成

フィールド名(N) TEXT1

コメント(C)

字体(T) 1 - 1.5mm x 1.5mm文字

幅拡大(W) 1

高さ拡大(H) 1

最大行数(L) 1

フィールド方向(D) 1-左から右

データソース(S) F-固定

固定データ(F)

特殊フォーマット(S) 0-特殊フォーマット無し

レポートデータ(R) N(いいえ)

連番の増減(Q) C-不変

文字列の連結(A) N-連結させない

印字許可(E) Y-(はい)

文字間隔(Q) 0

フィールド名は履歴レポート、フィールドエディタ、条件付き印字や簡易プログラミング用コマンドファイルを使用する際に必要になります。英数字がアンダースコアからなる文字列(1-32文字)で指定して下さい。

現在定義されている名前は、下記の通りです:

OK 取り消し

字体…入力する文字のフォントを選択します。プリンタ内蔵フォントを使う場合とWindowsフォントを使う場合とで設定が多少異なります。

- プリンタフォント使用の場合(上図)

幅拡大 …文字の幅を拡大します。拡大した分、ドットが荒くなります。

高さ拡大 …文字の高さを拡大します。拡大した分、ドットが荒くなります。



● Windows フォント (MS ゴシック等) の場合(下図)

字体(F)	T116 - MS ゴシック
スクリプト	シフト JIS
文字の高さ(H)	5.0
文字の幅(W)	2.5

- 字体 …使いたい Windows フォントを選びます。フォントについての詳細は、Windows のコントロールパネルにあります「フォント」をご参照ください。
- スクリプト …日本語フォントの場合は、「シフト JIS」を選択します。  
英語フォントの場合は「英語」を選択します。
- 文字の高さ …文字の高さを選択します。単位は 1mm で、0.1mm 単位で設定できます。プログラムオプションで、インチ単位にも変更できます。詳しくはヘルプをご覧ください。
- 文字の幅 …文字の高さを設定します。文字の高さと入力方法は同じです。高さ、幅共に後で変更できます。

● 共通項目

- 最大行数 …複数の行を表示させる場合はここに行数を表示させます。  
通常は 1 を指定します。
- フィールド方向 …文字の表示方向を指定します。通常は「左から右」です。
- データソース …フィールドのデータソースを入力します。設定内容によってその後の設定内容が変わります。(後述)
- 特殊フォーマット…データの表示形式を変更したい場合に設定します。代表的な例として、金額を表示させたい場合、「H-価格」を設定すると、¥ 付きのカンマ区切りの数字に変化します。他にも、「2 - 普通の年月日」を設定すると、データが日付形式で出力されます。これらの設定は独自に定義する事も可能です。

連番の増減

連番の増減(D)	[I-増加]
連番の増加タイプ(T)	[N-数字]
連番の増減値(A)	1

ラベル一枚ごとに、連続した数字等を設定したい場合に入力します。

(1)連番の増減

フィールドの値が増加していくか、減少していくか選択します。不変を選ぶとデータは変化しません。

(2)増加タイプ

どのようなデータを使用するかで設定が変わります。数字のデータ

の場合はNを、英数字やアルファベットを使う場合等はA,Cを選択します。例えば、アルファベットを指定した場合、データの末尾がA~Zの順で変動します。

### (3)連番の増減値

一度にどれだけ値が変動するかを指定します。例えば、数字フィールドの増加で、増減値を2にした場合、一見のデータごとに数値が2ずつ増加していきます。

\*その他、データソースの違いやフォントなどの設定の違いによって設定項目が変化する場合があります。ご不明な点等ございましたらヘルプ等ご覧下さい。

### ☆データソースについて

データソースの設定は多岐にわたります。その中で、特に必要となります、3つの項目について解説します。

1. 固定 …設定したデータをそのまま出力します。主に、変わる事のない、固定のデータを出す場合に使用します。

\*固定を指定した場合の設定項目

- ・固定データ…フィールドのデータを設定します。

2. 印字時 …発行時に、データを入力する形式です。入力しない場合、空白が出力されます。発行ごとに、違う値を出力させたい場合に使われます。

データソース(S)	W-印字時
オペレータへの指示行(O)	デモCD
プロンプト番号(N)	3
データのチェック	0-入力規則無し
最大フィールド桁数(L)	10
空白文字入力を許可します(B)	1-完全または部分的空白文
設計テスト用の値(V)	9-123

\*印字時を設定した場合の入力項目

- (ア) オペレータへの指示行 …印字プロンプトで表示させるメッセージです。
- (イ) プロンプト番号 …印字プロンプト中で、他にも印字時フィールドがあった場合、順番を割り当てるためのものです。特に変更する必要はありません。

ん。

- (ウ) 最大フィールド桁数 …フィールドの最大桁数を指定します。ここで指定した桁数以上のデータを入力する事は出来ません。桁数以下なら入力可能です
- (エ) 設計テスト用の値 …編集画面上で、テスト的に表示させるデータです。この値は、印字及びテスト印字には影響を与えません。ここが空白の場合、編集画面では????と表示されます。

- 3. データベース …レーベルエクスプレスでは、データベース機能を利用する事が出来ます。多種多様な形式を利用できますが、基本的には DB IV を使用します。DB IV の場合、下記の様に設定します。

データベース(S)	D-データベース
データベースシステム(D)	LabelExpress Full (非SQL) データベース
データベースファイル(F)	C:\DATA.dbf
検索フィールド(S)	1
検索フィールド名(S)	JANCODE
オペレータへの指示行(O)	品名
データフィールド名(D)	NAME
最大フィールド長(M)	50
標準フィールド長(T)	50
空白入力の有無(I)	Y(はい)
ソフト番号(N)	1
設計テスト用の値(V)	キャベツ

\*データベースを選択した場合の入力項目

①データベースシステム：

DBIV を扱う場合は「EASYLABEL Full(非 SQL)データベース」を選択します。

他のデータベース (ACCESS、MDB 等) を使う事も可能です。

その場合、DBIV 形式に変換した上で使用されることを推奨いたします。

変換の仕方は各アプリケーションのヘルプをご参照ください。

②データベースファイル：

使用するデータベースのファイル名をフルパスで記入します。「参照」ボタンでファイルを探す事でも入力できます。

③検索フィールド

一意のデータベースレコードを抽出するためのキーとなるデータベースフィールド(以下 DB フィールド)の数を入力します。1～3の数字を入力する事ができ、数字に応じてキーとなる DB フィールドを指定できます。

#### ④検索フィールド名

前述の、キーとなる DB フィールドの名前を設定します。検索フィールド数に応じて設定する DB フィールド数が変わります。

#### ⑤オペレータへの指示行

印字の際、レコードを指定するためのプロンプトで表示するメッセージを設定します。  
例：「データを入力して下さい」

#### ⑥データフィールド名

実際に表示させたい、データベースレコードの DB フィールド名を設定します。印字の際は、前述の検索フィールドに印字時に指定したデータを元に、該当するレコードの DB フィールドの値が入ります。

#### ⑦最大フィールド長、標準フィールド長

このフォーマットフィールド(以下 FMT フィールド)に指定した、DB フィールドに設定した桁数を入力します。基本的には、両方とも設定しない事で、DB フィールドの桁数がそのまま適用されます。

#### ⑧空白入力の有無

DB フィールドに、データが存在しない場合、空白を許可するかどうかを選択します。いいえを選択すると、データがない場合エラーとなります。基本的には「はい」を選択してください。

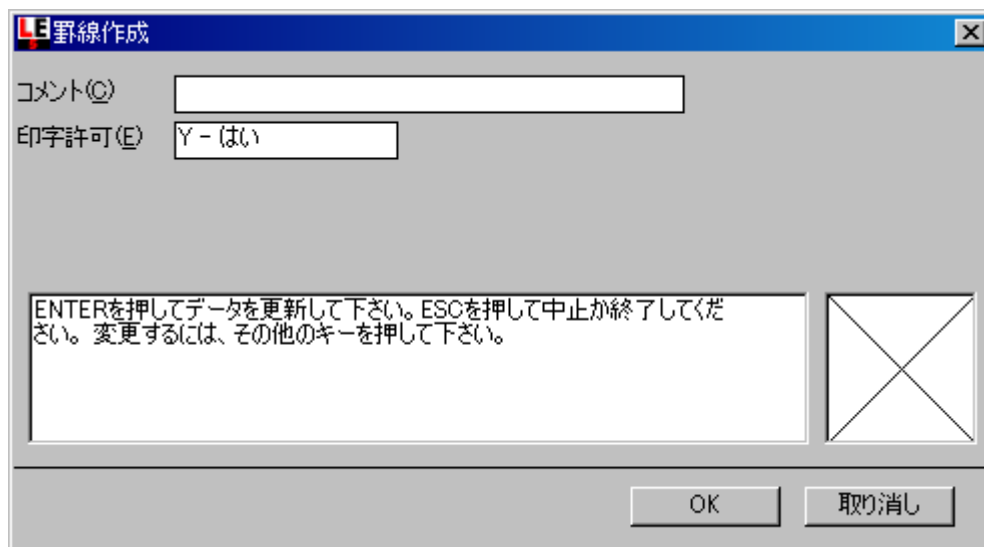
#### ⑨プロンプト番号

印字時のプロンプト番号と同じ意味です。データベースを使用する FMT フィールドが複数ある場合、入力する順番を設定します。

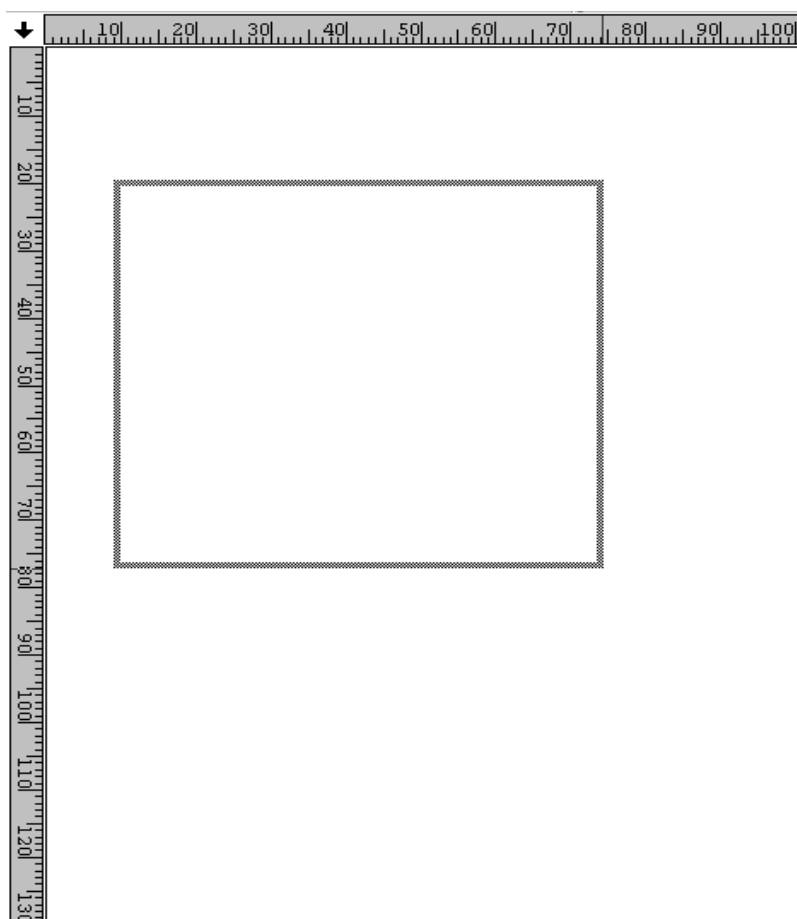
#### ⑩設計テスト用の値

これも印字時のものと同一です。テスト的に編集画面に表示させるデータを設定します。設定しない場合、DB レコードと印字時の桁数に合わせて「？」が表示されます。

#### (4) 罫線作成



罫線作成のボタンを押すと、上記のダイアログが出ます。



編集画面で、マウスのアイコンをドラッグ&ドロップする事で、罫線の種類に応じ

た図形が作成されます(上図)。線の太さや幅等は、フィールドプロパティから変更する事が出来ます。もしくは、編集画面でグリッドを操作する事で直接変更する事も出来ます。

#### (4)画像フィールド作成

グラフィックフィールド作成

フィールド名(N) PICT1

コメント(C)

データソース(S) F-固定

グラフィック名(N) 参照(B)

フィールド方向(D) 1-0度(通常)

通常/反転印字(O) N-通常

印字許可(E) Y-はい

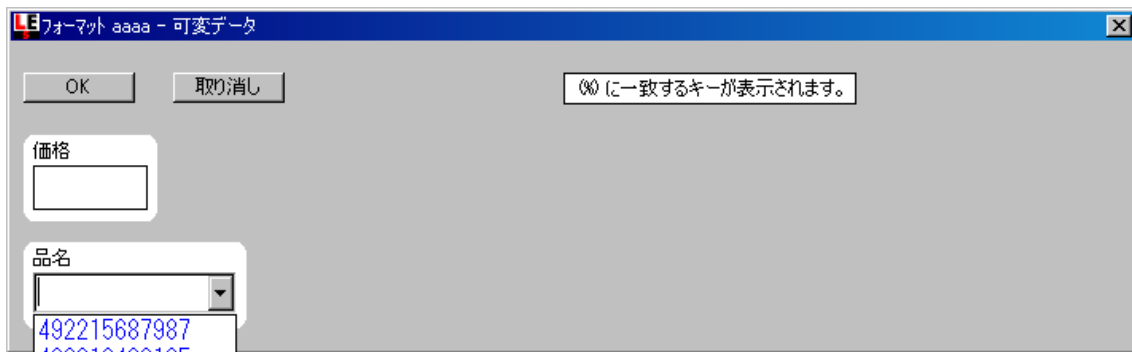
グラフィックファイル名を入力するか選んで下さい。その他のディレクトリを表示するには、Alt+B (参照)を押して下さい。

OK 取り消し

データソースは、…前述したデータソースとほぼ同一です。固定・印字時・データベースなどを指定できます。データベースを使う場合は、データは画像ファイルのあるパスがフィールドに入っている必要があります。

グラフィック名 …使いたい画像フィールドのある場所を指定します。  
右の参照ボタンからファイルを探す事も出来ます。

## 【4】ラベル・タグの印字

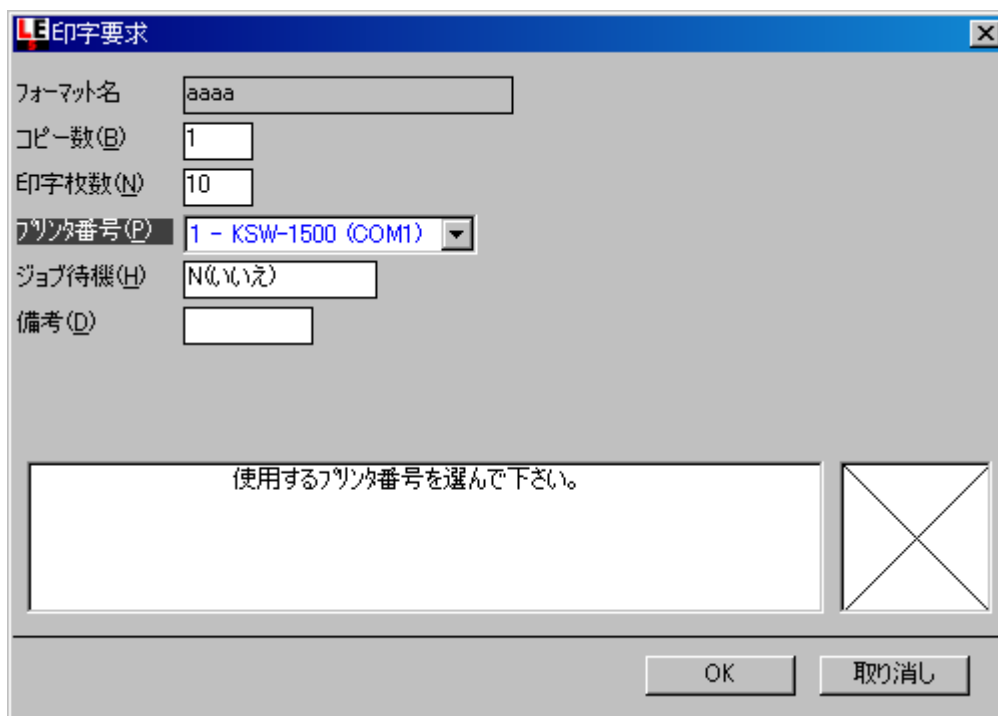


アイコンの「印刷」ボタンをクリック、又は「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする事で、編集中のラベルを印字する事が出来ます。編集しているフォーマットが未保存の場合、保存を促すダイアログが表示されます。

FMT フィールドの中に、データソースを「印字時」もしくは「データベース」等設定したものがあある場合、印字画面の前にデータ入力画面が出ます。上の例では、「価格」部分が印字時、「品名」部分がデータベースの検索フィールドです。「価格」「品名」が、データソースの項目であった「オペレータへの指示行」の入力内容にあたります。

「価格」フィールドは、ここで入力したデータがそのまま表示されます。

「品名」フィールドは、検索に使う DB フィールドの値を選択します。ここで特定のデータを選択すると、そのデータのみラベル印字されます。何も選択しなかった場合、データベース内の全てのデータを印字する事が可能です（印字要求画面で多少変更可能です）。



データを入力すると、上記のような印字要求画面が表示されます。

(ア) コピー数

同一のデータを何枚印字するかを指定します。

(イ) 印字枚数

印字枚数を選択します。コピー数との違いは、連番等“内容の違うデータを何件出すか”を指定する点です。

////////////////////////////////////

例として、数字の1が入力された、増現値1の増加フィールドを10件出したい場合、コピー数を10とすると、数字の1が10枚出力されますが、印字枚数を10とすると、1, 2, 3, ... 10と1ずつ増加した値が出力されます。

応用例としては、上記の例でコピー数10、印字枚数10とすると、1が10枚、2が10枚、3が10枚、...と同じデータが10件ずつ、合計100枚出力されます。

////////////////////////////////////

(ウ) プリンタ番号

基本的には設定を変える必要はありません。同じプリンタを複数登録している場合のみ変更可能です。



## 【5】 データベース機能

データベース中には10個のレコードがあります。印字するレコードを指定して下さい。  
全てのレコードを印字する場合は、Aを、ある範囲内のレコードを印字する場合は、Rを、マーク付きのレコードのみを印字する場合は、Mを、また共通の値を持つレコードを印字する場合は、Cを入力して下さい。

データベースを使っていて、検索フィールドに何も入力しなかった場合、レコード選択の項目が印字要求に追加されます。

A.全体 …データベースにある全てのデータを印字します。

B.範囲 …データベースレコードの中で、印字したいレコードの範囲を指定できます。

スタートレコード番号~エンドレコード番号の範囲を印字します。

M.マーク付き …DBIV のデータベースファイルを使っている場合、データベースの編集画面でレコードにマークをつけることが可能です。マークつきを選択する事で、事前にマークをつけておいたレコードのみ印字します。

### C.条件付き

レポート選択(S)	C-条件付き	
WHERE文(W)	JANCODE < '4987548216583'	NAME JANCODE

印字するレコードを、条件にしたがって選択できます。条件の指定は **SQL** 文を使用します。  
**WHERE** 文入力の右側には、使用可能な **DB** フィールド名が表示されます。

必要な内容を入力後、**OK** ボタンを押すことで、印字要求がプリンタに対して送られます。  
要求内容を参照する場合はアイコンの「印字キュー」ボタンをクリックする事で参照できます。